

2024年2月期(第46期) 第2四半期 決算説明会

 **イオン北海道株式会社**

1.2023年度 上期の業績

2.重点施策の取り組み

3.2023年度 下期の取り組み

4.通期業績予想

1.2023年度上期の業績

2023年度 上期の業績



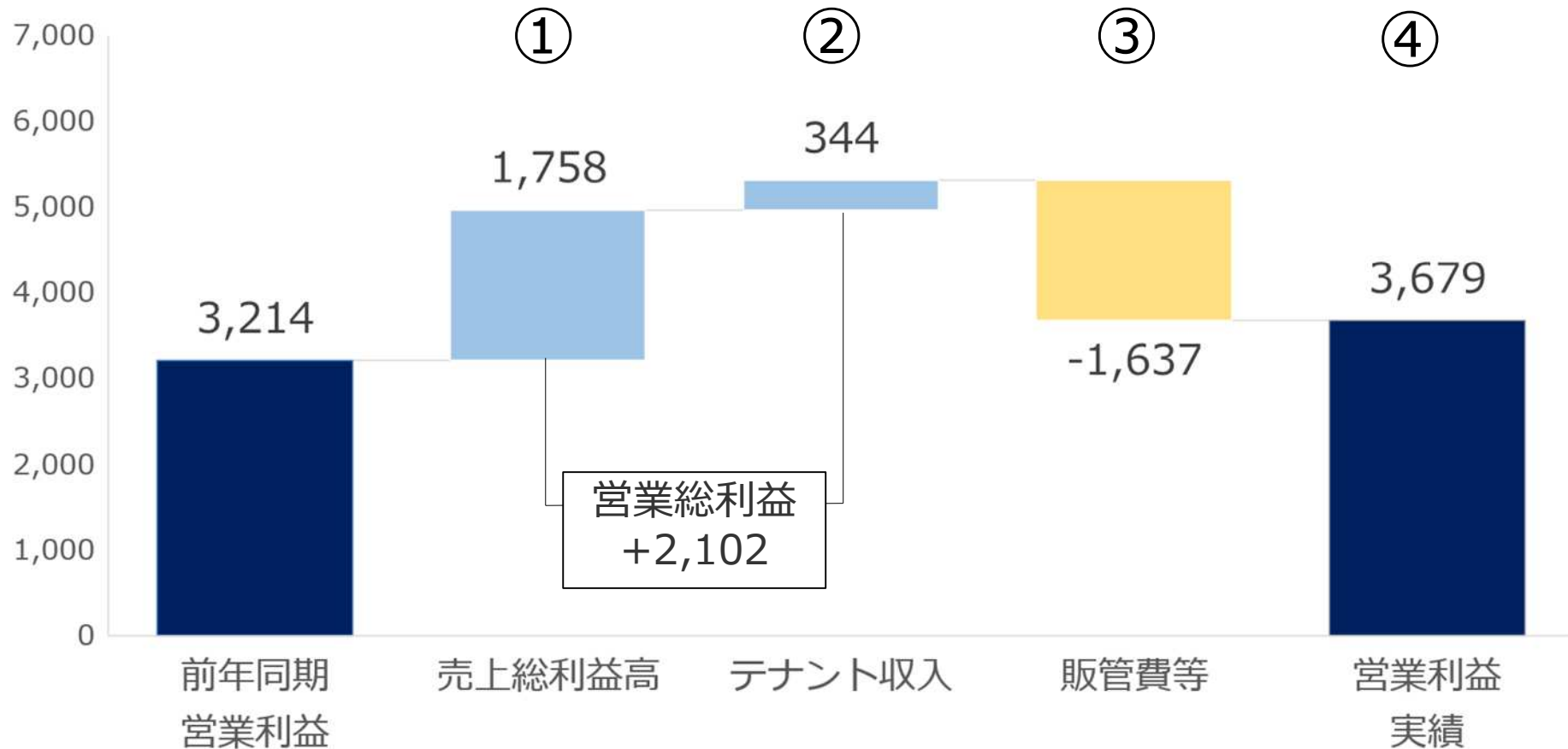
- ・今年度上期は増収増益となり
売上高は過去最高

単位：百万円

	実績	前年同期差	前年同期比
売上高	161,894	+6,545	104.2%
営業利益	3,679	+465	114.5%
経常利益	3,686	+421	112.9%
四半期純利益	1,907	+81	104.5%

2023年度上期の業績【営業利益 前年同期との差異】

単位：百万円



- ①衣食住の全てが伸長し、売上高増により利益増
- ②テナント収入増
- ③水道光熱費上昇で販管費増も、積極投資による省エネ効果創出で影響緩和
- ④前年同期より465百万円増益

2023年度上期の業績【客数・客単価・買上点数・1点単価】

- ・ 1Q、2Qともに売上高伸長。特に2Qが好調
- ・ イベント等の再開や節約志向、猛暑への対応を行い客数増で売上高増に寄与

※既存店舗実績

	1Q	2Q	上期計
売上高	103.0	105.5	104.2
客数	102.8	104.4	103.6
客単価	100.2	101.0	100.6
買上点数	94.9	94.1	94.5
1点単価	105.6	107.3	106.5

2023年度上期の業績【業態別売上高前年同期比】

- ・GMSは外出意欲の高まりやイベント増で客足回復。
- ・DSは生活防衛意識の高まりで大幅に伸長。

19年度売上高の1.3倍に

単位：百万円/%
収益認識会計基準を適用しない数値。カッコ内は既存店売上高前年同期比

	売上高	前年同期比	19年比
GMS事業	90,390	103.8 (103.8)	102.2 (104.0)
SM事業	49,584	101.1 (102.7)	110.1 (106.9)
DS事業	24,605	114.5 (109.4)	130.4 (118.8)

※ 「GMS事業」…総合スーパー（SuC含む）、「SM事業」…スーパーマーケット事業、「DS事業」…ディスカウント事業
※ 既存売上高前年同期比については、2019年度以降の新店、閉店店舗を除く

2023年度上期の業績 【ライン別売上高前年同期比】

- ・全ライン伸長。社会行事・季節行事への対応など、外出意欲の高まりによる需要増の取り込みにより伸長

単位：百万円/%

	売上高 (売上構成比)	前年同期比	既存比
衣料	9,804 (6.1)	106.3	106.5
食品	131,340 (81.1)	104.6	104.3
住居余暇	20,661 (12.8)	101.7	102.0
合計	161,894	104.2	104.0

2023年度上期の業績【販管費】



- ・ 設備費のうち、水道光熱費で約 3 億円プラス。省力化機器の積極投資や節電意識向上で使用電力は減少（▲4.7%）
- ・ 人件費増も総労働時間前年同期比▲ 1 %
- ・ 結果、販管費は計画内で管理

単位：百万円/%

	実績	前年同期比	前年同期差	売比
人件費	21,831	102.8	+ 585	13.5
販促費	5,764	101.1	+63	3.6
設備費	16,872	104.5	+728 (うち、水道光熱費で+300)	10.4
一般費	3,777	107.4	+258	2.3
販管費合計	48,246	103.5	+1,637	29.8

2023年度上期の業績【財務状況】



- ・ 資産：政策保有株式を売却し固定資産減
- ・ 負債：長期借入金の減少

単位：百万円/%

			2023年8月期末			2023年2月期末	
			実績	構成比	増減	実績	構成比
		流動資産	33,328	21.8	+143	33,184	21.7
		固定資産	119,564	78.2	▲216	119,781	78.3
		資産合計	152,892	100.0	▲73	152,966	100.0
		流動負債	65,243	42.7	+1,874	63,369	41.4
		固定負債	20,269	13.3	▲2,165	22,434	14.7
		負債合計	85,513	55.9	▲291	85,804	56.1
		純資産合計	67,379	44.1	+217	67,161	43.9
		負債・純資産合計	152,892	100.0	▲73	152,966	100.0

2.重点施策の取り組み

- 売上高拡大
- 利益率改善
- 生産性向上

【売上高拡大】新規出店



マックスバリュエクスプレス新川3条店（3月9日オープン）



- ・ 新たな業態への足掛かりとなる、お求めやすい価格で商品を提供し、ローコストでのオペレーションで運営するモデル店舗
- ・ 小商圏を対象。後方施設を最小化し、商品はアウトパックで対応
- ・ 既存の販促は行わず、iAEONを介したクーポンの配布へシフト

【売上高拡大】店舗活性化



デリカ・フローズン面積拡大



地場商品強化



GMS・SM計 **7** 店舗で大型活性化 活性化店舗前年同期比 **109.2%**

※活性化の翌月～8月までの実績

【売上高拡大】地域交流地点再構築



店内でのイベント

■ ゴールデンウィーク	2022年度 <u>86件</u>	▶	2023年度 <u>128件</u>	約 1.5 倍
■ お盆	2022年度 <u>52件</u>	▶	2023年度 <u>114件</u>	約 2.2 倍

＜お盆のイベント例＞



＜キャラクターショー＞



＜縁日＞



＜吹奏楽演奏＞

昨年を上回るイベントを実施し、館の客数増に寄与

【売上高拡大】【荒利率改善】差別化商品の拡販



当社開発商品

上期開発商品例



6月発売商品「イオン北海道本気! のザンギ」



上期で約**360**品目開発

トップバリュ



「今日も明日も、ほしいもの」

おなじみのメーカー
商品以上の感動品質と
地域いちばん価格を実現



「さあ、ワクワクするほうへ!」

「ワクワクするブランド」
「おいしさ」+食の楽しさ、驚き
「使い心地」+かっこよさ(クールさ)



「もっと安心、もっとやさしく」

「オーガニック&
ナチュラルブランド」
自然環境の持続可能性を追求



7月発売商品「トップバリュプレミアム生ビール」



トップバリュ計**113.1**%と伸長

社会行事関連商品の強化



こだわりの商品による差別化



- ・「学校行事」「社会催事」商品の需要増に応える売場構築を実施
- ・荒利率が高いカテゴリーや当社オリジナル商品の売上高拡大で荒利率改善

ネットスーパー

前年同期比**105.9%**

- ・ 4月から8月にかけて配送拠点を**4**店舗で新設
配送拠点数は道内**14**拠点に

道内配送拠点

4月：イオン小樽店



6月：イオン札幌藻岩店



7月：イオン紋別店



8月：イオン札幌麻生店



■ 拠点開設によるメリット

① 配送時間を短縮

開設前 : 5 時間

→ 開設後 : 最短**3**時間

② 取扱品目の拡大

これまで一部エリアに配達
できなかった生鮮品やお惣菜
なども配達可能に

【売上高拡大】顧客化の推進



iAEONの取り組み



1. AEON Payの機能の充実



- ・チャージ払い
イオンクレジットカードや銀行の口座からAEON payにチャージができるように
- ・WAON POINT充当
お買物などでためたWAON POINTをAEON payでの決済時に利用できるように

銀行
口座



チャージ



WAON POINT

2. 応募システム

- ・購入に応じてレジではがきを渡し、お客さまが店内の投函BOXに投函
- ↓
- ・懸賞企画を実装し、iAEONから直接応募できるように



イオン北海道限定 1,000円引きクーポン
抽選キャンペーン

開始日時 2023年9月8日 00:00
終了日時 2023年9月14日 23:59

キャンペーン内容

iAEONで提携のイオン、イオンスーパーセンター、マックスバリュ、ザ・ビッグ、まいばすけっと店舗をお客さまの金額の上、iAEONからエントリーを行い、お買い上げの額に会員コードをスクリーンして頂いた方を対象として抽選を行います。
当選者の方へ以下のクーポンを郵送します。

3. クーポンの配信

- ・商品やギフトの購入に使える約**320**種類のクーポンを実装



スゴ推しクーポン



【生産性向上】DX、その他効率化の取り組み



DXの取り組み

電子棚札



上期：
13店舗に新規導入



累計**19**店舗に

セルフレジ



上期：
28店舗に新規・
追加導入



累計**117**店舗に

効率化の取り組み

商品のキットアップ・アウトパック化 (イオン石狩PC)



PCで一部商品を
セット



店舗で残りの商品を
盛りつけ



スライド棚



上期：
64店舗に新規・
追加導入



累計**102**店舗に

上期時点 総労働時間を前年同期比**1%**改善

節電の取り組み



冷蔵・冷凍ケース清掃・更新

上期投資額

2023年度
年間**14億円**投資想定

上期時点
9.6億円投資
計画通り実施



新規LED導入、更新

上期電気使用量

2023年度
前期比**96%**を目標

上期時点
前年同期比**95.3%**
想定以上に削減

フードドライブ



フードドライブ実施店舗数
2店舗（2月時点）



27店舗（8月時点）

社会貢献につながる商品企画



イオン北海道×サッポロビール



イオン北海道×コカ・コーラ

子どもたちやスポーツの応援に
つながる企画を実施

南富良野町植樹



豪雨災害で被災した場所に植樹

4年間で累計植樹本数は**8,000**本に

3.2023年度下期の取り組み

- 売上高の拡大
- 荒利率の改善（売上総利益高の確保）
- 生産性の向上
- SDGsの取り組み
- 地域との取り組み

SM2店舗を新規出店

■ マックスバリュ山鼻店（札幌市中央区）

10月オープン！



- ・ 地域の皆さまのくらしが、
“より便利に、より豊か”
になるよう、
価値ある商品を多数品揃え
- ・ イオン南平岸店11月オープン

大型活性化

■ イオン北見店（北見市）

10月リニューアル！



- ・ 2022年度に引き続き、
第2弾大型活性化を実施！
- ・ 衣料品など、
前回実施できなかった部分を
リニューアル

【売上高拡大】【荒利率改善】差別化商品の拡販



当社開発商品



トップバリュで今年発売し好評の「プロの一品」からヒントを得て、開発した商品！

■商品

札幌グランドホテル

京王プラザホテル札幌



当社開発商品は、年間で
約**800**品目予定

トップバリュ



「今日も明日も、ほしいもの」

「さあ、ワクワクするほうへ！」

「もっと安心、もっとやさしく」

■9月25日（月）より厳選**31**品目を値下げ



- ・生活必需品の中で、特にお客さまよりご要望の多かった商品を厳選
- ・サラダ油やヌードル、豆腐、リサイクルトイレットペーパーなどを値下げ

当社オリジナル商品



衣料

- ・アウターやボトムス、靴など、暖かさや動きやすさを兼ね備えた当社オリジナル衣料品を多数開発
- ・「イオン北海道ならではの」の商品提案を行う



住居余暇

- ・お手ごろ価格で機能性の高いトップバリュ「ホームコーディ」を品揃え
- ・売場では寝具を使って北海道の冬を温かく過ごすための提案を行い、販売強化

【売上高拡大】集客セールス



初売り



- ・ 福袋や福企画のほか、お正月ならではのイベントなどを多数実施
- ・ 1月1日が年間最大の売上となる店舗も

ブラックフライデー



- ・ 年末年始、お盆の次に売上が見込める
- ・ 衣料品や住居余暇を中心に、均一や半額企画、黒にちなんだ企画など、多様な企画を実施

- ・ 初売りやブラックフライデーなど、恒例セールスを強化！魅力的な商品とイベントで昨年を大きく上回る集客につなげる

【売上高拡大】顧客化の推進

Eコマースの取り組み



iAEONの取り組み



■ クーポン配信

- ・ 商品やギフト購入で使えるクーポンを引き続き配信



■ スタンプ機能

- ・ ランクアップで割引になるクーポンを進呈



ランクアップ



昨年度末の**2.6倍**のアプリ登録者数へ

eショップサイトリニューアル

■ リニューアルポイント

- ・ 画像を追加し、商品の特徴を説明



- ・ 情報を見やすく

配送

店舗受け取り

配送

全国配送

お届け期間

ご指定いただくことができません。
発送となりましたら、メールにてご連絡いたします。
商品名に記載のお渡し日以降にお渡しいたします。

支払い方法

クレジット

価格（税込）

下限なし

円

～

円

上限なし

POINT・配送

☐

15%OFF (195)

☐

10%OFF (83)

- ・ 絞り込み機能の充実

下期の主なイベント

・ハロウィン



・クリスマス



・イオン de パラスポ



・にぎわいを創出し、地域になくてはならないショッピングセンターへ

【生産性向上】DX・省エネ投資

DX



セルフレジ

年間 総労働時間 **2%**改善を目標



電子棚札

省エネ投資



冷蔵・冷凍ケース清掃・更新

年間 **14億円**投資想定

電気使用量 前期比**96%**を目標



新規LED導入、更新

オフサイトPPA

2024年1月より順次開始

再生可能エネルギーの活用



敷地外の太陽光パネル



イオン

- 2025年
約2,000万kwhの電力を
道内のイオン10店舗に
供給

CO₂削減目標：2025年度、2010年度比**25**%削減目標

レジ袋を有料の紙袋へ切り替え



10月5日より、
道内のイオン・イオンスーパーセンターの
衣料品や日用品・暮らしの品の売場で、
提供する有料プラスチック袋を
有料紙袋へ順次切り替え

中国における日本産水産物の禁輸

- ・ 中国における日本産水産物の全面禁輸を受け、水産物の販路に影響
北海道においても特にホタテが影響を受ける

当社としての取り組み



- ・ 9月15日（金）～18日（月・祝）、毎月実施しているイオン道産デーにおいて、ホタテを含む道内水産品のチラシ訴求や売場での展開拡大を実施
- ・ 10月13日（金）からのイオン大道産デーでも販売強化



4.通期業績予想

2023年度の業績予想



単位：百万円/%

	2022年度実績	2023年度計画		
		公表値	売比	増減率
売上高	317,274	331,000	100.0	+4.3
営業利益	8,347	8,800	2.7	+5.4
経常利益	8,501	8,800	2.7	+3.5
当期純利益	4,705	4,800	1.5	+2.0
配当/ 配当性向	12円/35.5%			12円/34.8%

数値前提	既存比
売上高	103.4%
荒利改善率	+0.37pt
販管費	104.4%

PBR向上に向けて

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現在、現状分析及び改善に向けた方針や具体的な取り組みについて、取締役会にて検討し策定を進めております。まとも次第、速やかに開示いたします。

日々のいのちと暮らしを、「夢のある未来」へ。

AEON



木を植えています

私たちはイオンです